

<報道発表資料>
(経済同時)

令和7年3月31日
京都市環境政策局地球温暖化対策室
産業観光局観光MICE推進室
(公財) 京都文化交流コンベンションビューロー

環境に配慮したサステナブル MICE 京都ガイドライン の策定等

京都市では、この度、環境負荷を軽減するために主催者が取り組むべきアクションリストなどをまとめた「環境に配慮したサステナブル MICE 京都ガイドライン」を策定しました。併せて、環境に配慮した製品やサービスを提供している MICE 関連のサプライヤーリスト及び MICE 開催にかかる CO2 排出量計算ツールを公開します。

【背景】

京都市では、国が進める「脱炭素先行地域^{※1}」に選定され、「京都の文化・暮らしの脱炭素で地域力を向上させるゼロカーボン古都モデル」の創出に取り組んでいます。

本市の脱炭素先行地域の取組として、サステナブルツーリズムワーキンググループ^{※2}では、国際文化観光都市として脱炭素を目指したサステナブル MICE をはじめ、国際基準を上回るサステナブルツーリズムの推進に向けた取組を検討してきました。

- ※1 2050年カーボンニュートラルに向け、2030年度までに民生部門（家庭・業務部門）の電力消費に伴うCO2排出実質ゼロを目指す地域
(<https://zerocarbonkyoto.city.kyoto.lg.jp/>)
- ※2 京都市脱炭素先行地域計画に基づく取組を主体的に実施するため、(学)立命館、(公社)京都市観光協会、エムケイホールディングス(株)、(公財)京都文化交流コンベンションビューロー、京阪ホールディングス(株)、(株)JTBで構成される

【ガイドライン等の公開】

ガイドライン、環境に配慮したサプライヤーリスト及び MICE 開催に係る CO2 排出量計算ツールは、3月31日(月)午前10時に(公財)京都文化コンベンションビューローのホームページで公開します。

URL：<https://meetkyoto.jp/ja/co2-emission-calculator/>



京都文化交流
コンベンション
ビューローHP

【ガイドライン】

- 主な構成は以下のとおりです。詳細は別添のガイドラインを参照
 - ガイドラインの概要
 - サステナブル MICE の定義とその実践により目指す姿
 - MICE における環境負荷の把握とその対策
 - サステナブル MICE に向けたアクションリスト
 - サステナブル MICE の実践事例の紹介

【環境に配慮したサプライヤーリスト】

ISO や GSTC など国際認証を満たした事業者を4つの分野（①宿泊施設、②会議運営サービス会社、③旅行代理店、④交通関係）で公開します。環境に配慮した製品やサービスを提供しているサプライヤーを見える化し推奨することで、よりサステナブルな MICE の開催を目指します。

【MICE 開催に係る CO₂ 排出量計算ツール】

基本情報の入力により、開催時に排出する CO₂ 排出量を見える化（会場、移動、宿泊、飲食、廃棄物の分類毎に計算）するとともに、それと連動したカーボン・オフセット※を促進します。

※ 自らの温室効果ガス排出量のうち、どうしても削減できない排出量の全部または一部を、他の場所での排出削減・吸収量でオフセット（埋め合わせ）すること。



<CO₂ 排出量計算ツールのイメージ図>

<お問合せ先>

ガイドライン及びガイドラインに基づく運用に関するお問合せ先

（公財）京都文化交流コンベンションビューロー

電話：075-353-3053

京都市脱炭素先行地域サステナブルツーリズム WG に関するお問合せ先

京都市環境政策局地球温暖化対策室

電話：075-222-4555